



— ご挨拶 —

公益財団法人日高奨学会 代表理事 山本直樹

日高奨学会が昭和 35（1960）年、当時の文部省から財団法人としての認可を受け、優秀な大学生に奨学金を給付する事業を開始して令和 2（2020）年で 60 周年を迎えました。

本会の事業目的は、当地域の優秀な学生で経済的援助の必要な者に対して、学費を給与し、有為な人材を育成し、教育の振興に寄与することにあります。（「日高奨学会定款」）

この育英事業を創始されたのが当地域の素封家田端春三翁（美浜町田井）でした。当時すでに 82 歳の翁は資産（持ち山の最上の美林）を投げ出し、「国家百年の計は人の育成に有り」として、日高奨学会を創立しました。翁のご遺志を受け継がれたご子息の田端拓二様やお孫様の田端道子様などのご寄付も賜り事業資金としてまいりました。結果、現在までに二百名超の大学生（現在は御坊市、日高郡、有田郡市に在籍する高校生の大学進学者）に奨学金（平成 3 年からは 1 人あたり毎月 3 万円）を給付し続けてきました。

私たち役員一同は、創始者田端春三翁の当地域における、社会や国家に貢献する若い人材の育成という大志大業を今後も引き継ぎ、一層の発展と充実を図るため努力を続けていく所存です。この創立 60 周年を契機に、地域の皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。